



2025 年 11 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社フェイスネットワーク
代 表 者 名 代表取締役社長 蜂谷 二郎
(コード番号：3489 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員 石丸 洋介
(TEL. 03-6434-0437)

2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算説明会 主な質疑応答（要旨）

2025 年 11 月 20 日に開催いたしました 2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算説明会における主な質疑応答は以下のとおりであります。

○ 開催状況

開催日時 2025 年 11 月 20 日（木） 10：00～10：40
開催方法 L I V E 配信による開催

Q 1. 前年同期より利益は積まれています、それでも通期の利益予想に対する進捗は 25%程度に留まっています。下期偏重は理解しているが、通期業績達成に対する見通しはどうですか？

A 1. 第 2 四半期までの業績進捗は 25%程度ですが、現時点までにお申し込みをいただいた物件や、検討を進めていただいているお客様がいらっしゃるの、ある程度の目途は立ってきています。計画達成に向けて下期も全社を挙げて取り組んでまいります。

Q 2. 開発用地の仕入効率と今後の見通しはどうなっていますか？

A 2. 城南 3 区の土地価格は高騰を続けている状況ですが、当社におきましては当該エリアでの開発実績が評価されており、月に 400 件を超える潤沢な売却用地情報が入手出来ており、収益性の高い開発用地の仕入は継続できると考えています。

Q 3. 東京 23 区の新築分譲マンションの平均販売価格が 1 億円を超えるというデータが継続して出ていますが御社への影響はどうですか？

A 3. 分譲マンションの平均価格の上昇は、購入のハードルが上がり、賃貸需要が増加するという面で当社にはプラスの影響が大きいと考えています。

Q 4. 東京 23 区の賃貸マンションやアパートの家賃の上昇というデータもありますが、御社への影響はどうですか？

A 4. 家賃相場の上昇は当社物件の家賃収入増加に繋がり、販売価格の設定を高くすることが可能になるのでプラスに影響すると考えています。

Q 5. グッドデザイン賞受賞の物件販売への影響はどうですか？

A 5. 受賞した物件は前年度に竣工した物件なので既に売却が完了しており、各物件の直接の影響はありませんが、オーナー様には大変喜んでいただいています。また、当社のデザイン力、物件開発力の高さを客

観的に評価いただける賞ですので、営業活動においてお客様から好印象をいただいております、間接的な効果は出ていると感じています。

Q 6. 御社の収益構造は、竣工・引き渡し時に売上・利益を計上するフロー型収益と、引き渡し後も継続的に収益が発生するストック型収益との理解で良いでしょうか？

A 6. ご認識いただいているとおり、当社といたしましては、物件販売を行う不動産投資支援事業はフロービジネス、賃貸募集&物件管理を行う不動産マネジメント事業がストックビジネスと位置付けています。

Q 7. 御社の最大の強みはなんですか？

A 7. 「価値を創出する物件開発力」です。これを具現化する体制として、当社が展開しているワンストップサービスも同じく強みであると考えています。

Q 8. 2026 年 3 月期は現在進行している中期経営計画の最終年度ですが、次期中期経営計画はどう考えていますか？

A 8. 現在、当社物件を購入される富裕層のお客様のニーズである「見たことのないもの」が欲しい、に corres pond するべく、THE GRANDUO のような「唯一無二」をコンセプトとした商品展開を推進しています。次期中期経営計画においても、お客様のニーズを的確に捉え、1 棟投資用不動産の開発販売を軸に、物件規模の大型化と物件価値の最大化を図り、高い利益率を維持しながら売上規模を着実に成長させる方向で、現在中期経営計画の策定に取り組んでいます。発表時期は未定ですが、策定できたタイミングで皆様にお伝えいたします。

Q 9. 事業拡大のための M&A は、今後も想定していますか？

A 9. M&A ありきという前提はないが、当社の企業価値を高めることに繋がる案件があれば、積極的に検討していきます。基本的には、物件開発力を高めることに直結するゼネコン等が対象となると考えています。

以上